笑顔とチャレンジがあふれるまち ならは

広報

ならは

2025 MAR. 第662号 3

●表紙PHOTO:楢葉町フォトコンテスト2024 最優秀賞【朝陽が染める高台】

特集 楢葉町フォトコンテスト2024 結果発表

県立ふたば支援学校が14年ぶりに双葉郡内で再開

「まざらっせ」が福島県建築文化賞 復興賞を受賞

結果発表

楢葉町フォトコンテスト2024へ
たくさんの応募をいただき
ありがとうございました。
総応募数95点の中から、
厳選なる審査の結果、
最優秀賞1名、優秀賞1名、
審査員賞3名の受賞が
決定しました。
受賞作品は、今後、
町や観光協会の
PR作品として
活用される予定です。

最優秀賞

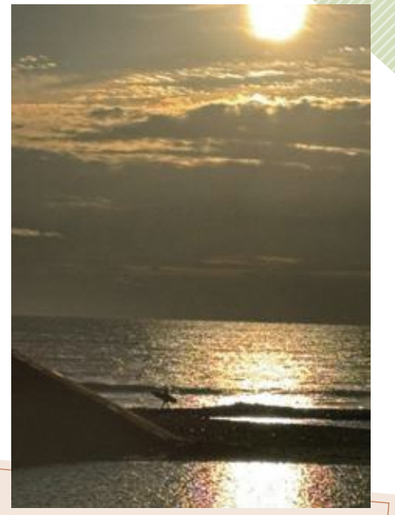
【作品タイトル】朝陽が染める高台
【撮影場所】天神岬
【撮影者】佐々木 ちひろ(楢葉町)

【写真コメント】天神岬で朝陽が大地を金色に染め上げる、美しい瞬間に出会えました。楢葉での新たな生活の始まりを象徴するかのように、心に温かいエネルギーを与えてもらいました。

優秀賞

【作品タイトル】ひまわりと夕焼け
【撮影場所】楢葉町北田中満
【撮影者】稲木 和恵(いわき市)

【写真コメント】いつもの帰り道、ひまわりと夕焼けがきれいだったので思わずパシャリ。大輪のひまわりに元気をもらいました。今年の夏も暑かったなぁ!



審査員賞

【作品タイトル】井出浜の朝日
【撮影場所】井出地区海岸
【撮影者】坂本 幸美(楢葉町)

【写真コメント】朝日を浴びたサーファーが波乗りに向かう姿が輝いて見えました。

審査員賞

【作品タイトル】秋彩流れに艶やかに
【撮影場所】上繁岡周辺
【撮影者】柏舘 健(いわき市)

【写真コメント】上繁岡の大堤周辺を探しながら辿り着いた川沿いの紅葉を撮りました。まだ赤みが少ない頃でしたが、とてもきれいでした。

審査員賞

【作品タイトル】雨の中を走る
【撮影場所】上繁岡立石地区
【撮影者】西山 栄(いわき市)

【写真コメント】ツールドならは2024の参加者たちが、雨降る中走り抜けていきました。

鈴木幸子さん100歳賀寿

1月20日、鈴木幸子（ゆきこ）さん（大坂）が100歳の誕生日を迎えました。当日は県と町から賀状や祝金、記念品が贈呈されました。

幸子さんは、ストレスを感じることなく、自分のペースで自由に生活することが長生きの秘訣とおっしゃっておりました。当日はご家族も同席され、祝福の言葉を受けながら、会話を楽しんでおられました。

これからも益々ご壮健にお過ごしください。

おめでとうございます。

楢葉小学校6年生社会科授業

1月31日、小学6年生社会「長く続いた戦争とわたしたちのくらし」に係る見学授業が行われ、北田地区の防空壕のほか鉄兜、軍事手帳、防毒マスク、千人針など歴史資料館所蔵の戦争関連資料を見学、坂本和也生涯まなび課長から戦争時代の楢葉について説明を受けました。

楢葉町芸能発表会開催

2月2日、楢葉町コミュニティセンターにおいて令和6年度楢葉町芸能発表会が開催されました。

当日は、ステージや展示など16団体、総勢100名を超える出演者が音楽演奏や合唱、民謡など日ごろの練習成果を披露しました。

会場には多くの方が訪れ、出演者に大きな拍手や声援が送られました。

新たに地域おこし協力隊が着任しました

2月3日、楢葉町23人目の地域おこし協力隊として重野憲一（しげのけんいち）さんが着任しました。重野さんには今後、町内外の皆さんが楢葉町を楽しみ、そして楢葉町を知ることができる観光事業やイベントの企画立案・実施を担っていただきます。

みなさんもお会いする機会がありましたら気軽にお声がけください。

車いすバスケ日本代表の強化合宿が行われました

ロサンゼルスパラリンピックに向けた車椅子バスケットボール男子日本代表の強化合宿が「ならはスカイアリーナ」で行われ、2月6日、7日に一般公開がされました。世界レベルの迫力あるプレーに多くの方が魅了されました。

県市町村広報コンクール特選受賞

第70回福島県市町村広報コンクールの表彰式が2月17日、福島県庁で行われ、当町の作品が36点ある応募作品の中から広報写真で見事特選に輝きました。

作品を撮影した坂本龍汰主任主査は、撮影の意図として「イルミネーションの写真を見た方が楢葉町に訪れたいと思うように撮影した」と語っております。

今後も皆さんに親しまれる「広報ならは」を作り続けていきます。

受賞作品「2024年1月号表紙」

恵和興業(株)様から企業版ふるさと納税による寄附

2月18日、恵和興業株式会社様より「若い世代に魅力のある雇用を創出する事業」にと、ご寄附をいただきました。町内の雇用創出と促進のために活用させていただきます。ありがとうございました。

あおぞらこども園では、
【げんきなこども・やさしいこども・がんばるこども】
の教育・保育目標に向けて、
様々な特色ある取り組みを行っています。

あおぞらこども園通信

保育参観へのご参加、ありがとうございました

今年度最後の保育参観を開催し、保護者対象の講話や給食参観に加え、災害時の引き渡し訓練も同時に行いました。

管理栄養士の関場治美先生による「幼児期の食について」の講話

給食参観

「よさこい」披露

親子制作活動

災害時の引き渡し訓練

サッカーボール完成!

モルテン社のご厚意により、5歳児がボール作りを体験しました。

設計図を見ながらキットを組み立ててサッカーボールを完成させると、早速、ボールを蹴って出来具合を確認! 子どもたちみんな大満足のようでした。

豆まき

参観日におうちの人と一緒に作ったお面を身につけて「豆まき」をしました。

町商工会青年部の方々のご協力のほか、急遽、芸人のあばれる君も登場し、泣き声、笑い声のある、賑やかな楽しい豆まきになりました。

商工会青年部のみなさま、ありがとうございました。

あおぞらこども園　☎0240-26-0808
あおぞらこども園インスタグラム　https://www.instagram.com/naraha.kodomoen/

図書室だより
Library

開室時間：午前9時～午後5時
休 室 日：3月10日(月)、17日(月)、20日(木・祝)、24日(月)、31日(月)

【おすすめの図書】

(一般図書)
『もう会えない人を思う夜に』
坂口幸弘、赤田ちづる／著
(ディスカヴァー・トゥエンティワン)

著者は、関西学院大学「悲嘆と死別の研究センター」の坂口幸弘と赤田ちづるさん。本書は、深い悲しみや喪失感を抱えている人にそっと寄り添うグリーフケアの本です。グリーフケアとは、大切な人との死別を経験した人を支援する活動のこと。グリーフは「悲嘆」の意味です。グリーフケアの専門家でもある著者が、悲嘆と死別に関する研究を通じて膨大な人々の体験と向き合い、分析して28の実践的なヒントとしてまとめています。たとえ大往生といわれる死であっても、かけがえのない人との別れは辛く悲しいものです。多くの先人たちの体験から紡がれた知恵を、また一歩踏みだすためのヒントにしてみませんか？いま深い悲しみの中にある方にも、そうでない方にも読んでいただきたい一冊です。

『もう会えない人を思う夜に』
坂口幸弘、赤田ちづる／著
(ディスカヴァー・トゥエンティワン)

(児童図書)
『あこがれの図書館』
パトリシア・ポラッコ／作・絵、福本友美子／訳
(さ・え・ら書房)

緑豊かなインディアナ州の農村から、ミシガン州の大きな町に引っ越してきたパトリシアは、学校の帰り道、まるでお城のような大きな建物に目をうばわれます。それは、町のウィラード図書館でした。パトリシアは文字を読むのが苦手でしたが、うつくしい画集に夢中になって毎日のように図書館へ通うようになります。図書館員のクリービーさんとも仲よしになりました。そんなある日、学校公開日の展示のテーマを決めることになりますが、鳥が大好きで、いつも鳥の絵を書いていたパトリシアは、鳥をテーマにしたいと考えます。そんなパトリシアに、クリービーさんが見せてくれたものとは。1冊の本との出会いが、少女の未来を切り開いた、パトリシア・ポラッコの自伝的作品です。

『あこがれの図書館』
パトリシア・ポラッコ／作・絵
福本友美子／訳
(さ・え・ら書房)

新着図書

[一般図書]
- 『遺言―絶望の日本を生き抜くために―』森永卓郎、岸博幸／著(宝島社)
- 『「ハラスメント」の解剖図鑑』宮本剛志／著(誠文堂新光社)
- 『薬草を食べる人びと』垂見和磨／著(世界文化社)
- 『柚木麻子のドラマななめ読み!』柚木麻子／著(フィルムアート社)
- 『青姫』朝井まかて／著(徳間書店)
- 『共犯の畔』真保裕一／著(朝日新聞出版)
- 『ゆうべのヒミツ』室井滋／著(小学館)

[児童図書]
- 『難民・移民のわたしたち』雨宮処凛／文(河出書房新社)
- 『写真と動画でわかるはじめての子ども手話』モンキー高野／文(ナツメ社)
- 『遠い野ばらの村』安房直子／文、高橋和枝／絵(あすなろ書房)
- 『消えた校長先生』西村友里／作、大庭賢哉／絵(Gakken)
- 『しばらくあかちゃんになりますので』ヨシタケシンスケ／作・絵(PHP研究所)
- 『100ねんごもまたあした』くりはらたかし／絵、瀬尾まいこ／作(岩崎書店)
- 『モモ　絵本版』シモーナ・チェッカレッリ／絵、ミヒャエル・エンデ／文(光文社)

◎3月11日は「ならは防災と伝承の日」です。東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故から、まもなく14年になります。図書室では、震災と原発事故、復興、防災、災害伝承などに関する資料を展示しています。この機会に、ぜひご覧ください。

[お問い合わせ先] 楢葉町図書室(楢葉町コミュニティセンター3階)　☎0240-25-4730(月曜・祝日休館)

スポーツ・まなびの広場

町の石炭産業と地質図展

楢葉町では、明治・大正・昭和と3つの時代を通して石炭採掘が盛んに行われていました。木戸・竜田地区の山間部には11か所の炭坑が掘られており、昭和20年代には従業員数として竜田地区の曙炭鉱では従業員382名、木戸地区の千代田炭鉱では277名を数え、従業員の家族が住む炭鉱住宅は活気にあふれ、当時の石炭産業は町産業の花形ともいうべきものでした。

当町域を含む常磐炭田は、茨城県北部から福島県浜通り南部の地下に広がり、埋蔵炭量約11．1億トン、昭和27年には1年の出炭量約400万トンを誇る日本有数の大炭田でありました。

地下の石炭を含む鉱物などの地下資源の分布は「地質図」により確認することができますが、現在、大地とまちのタイムラインで開催している第3回特別企画展東京大学コレクション地質図展において、東京大学総合研究博物館が所蔵する貴重な地質図を見ることができます。

この特別展では、常磐炭田の地質図を中心に明治から昭和時代の様々な地質図の実物や、石炭層の周辺から産出される貝類化石を展示しております。普段目にすることが少ない貴重な地質図や、石炭を探索する際のカギとなる化石を間近に見ることが出来るこの企画展にどうぞご来場ください。

関連展示として、常磐線竜田駅の開駅と石炭産業の関係などや、各炭鉱から常磐線の木戸駅・竜田駅までをつなぐ炭鉱軌道に関するトピックを、町所有資料により構成したロビー展示「国策を支えた鉄路～常磐線」、ミニ展示「国策を支えた鉄路～楢葉の炭鉱軌道」をコミュニティセンター1階及び2階ロビーで開催しております。こちらもぜひご覧ください。

◉お問い合わせ先／生涯まなび課　☎0240−25−2492

甘藷 緑肥作物を栽培された皆さまへ

～定植の約3週間前までに複数回すき込みを！～

青木部会長の甘藷ほ場

昨秋から福島県浜地域農業研究センターと連携し、緑肥作物（ライ麦）の試験栽培に取り組んでいるところです。

なお、緑肥作物を栽培された方は、定植開始日の約3週間前までに複数回すき込みを行うようにしてください。ライ麦が分解するには約3週間必要とされています。

アグリチャレンジならは

連絡先
☎0240-23-6104

- ◉緑肥作物は土壌の団粒化を促進し、雑草抑制や排水性・保水性の改善が期待されています。
- ◉ライ麦は春以降、急速に伸びますので生育状況をよく観察し、適時すき込み作業を実施しましょう。

TOPIX タマネギの健康効果とは!?

タマネギに含まれる特徴的な栄養素としては硫化アリルとケルセチンで、硫化アリルは辛みと香りの素でもあり、解毒・殺菌作用を助けるそうです。

一方、ケルセチンは血流をよくし脂肪の吸収を抑えたりするために役立つと言われています。タマネギは、ビタミンなど重要な栄養成分の吸収を助けることから健康食材として注目されています。

令和6年度ゆずの木剪定勉強会開催
「ゆず香る町を目指して」～樹形に応じた整枝・剪定～

役場東庁舎前のゆずの木で剪定の実演を行いました。

2月14日、楢葉町ゆず生産振興組合のゆずの木剪定勉強会が開催されました。

成木の剪定ポイント
- ●枝の切り戻しや芯止め等
- ●切り口に癒合材等を塗布
- ●有機質肥料等、適量散布

幼木の剪定・整枝ポイント
- ●支柱や誘引で樹形を改善
- ●徒長枝や交差枝の剪定等

お問い合わせ先／農林水産課　☎0240-23-6104

おうちで ならいざっぷ

できていますか、災害への備え。

東日本大震災から14年が経ちます。様々な事柄が一人ひとりの胸に去来していると思います。
私たちは、あの震災から多くのことを学びました。その一つが、『備えの大切さ』です。
いつ起こるか判らない災害に備えて、今一度、ご自身の備えを見直してみましょう。

災害に備えて、日ごろから備えておくこと

まずは、ご自宅の「危険性」を確認しましょう。町から配布されている「楢葉町ハザードマップ」を見直して、警戒レベルに応じた、皆さん一人ひとりの避難計画を確認してください。

楢葉町ハザードマップの最後のページには、『我が家の行動計画』や『持ち出し品チェックリスト』など、日ごろから備えておくべき事柄が確認しやすいかたちで掲載されています。

医療機関へ通院中の方の備えは？

定期的に医療機関へ通院している方は、備えをもう少し充実させる必要があります。

予備の薬	• どのくらいの日数分を備えておけば良いか、かかりつけ医・かかりつけ薬剤師に相談しておきましょう。 • お薬のことだけではなく、災害時の対応について相談しておいても良いでしょう。
おくすり手帳	• 常に携帯して、避難時に医療機関へ提示できるようにしておきましょう。 • 糖尿病連携手帳や血圧手帳にも、大切な情報が記載されています。おくすり手帳と一緒に管理しておいた方が安心です。
持病の情報	• 避難時に備えて、ご自分の持病やアレルギーに関する情報をまとめておきましょう。
マイナンバーカード	• マイナ保険証の登録をしているならば、過去の診療情報や薬剤情報等を医師・薬剤師と共有することが可能です。
避難場所	• もしかしたら、医療機関で災害に遭遇するかもしれません。 • 医療機関周辺の避難場所と避難経路を確認しておきましょう。医療機関任せにするのではなく、自分の命は自分で守る、という気概を持つことが大切です。

ご高齢の方の備えは？

年齢を重ねると、若い頃と同じような体力がある訳ではありません。皆さんの年齢や身体状況に応じた備えが必要です。

持病のある方	• 上段に書き記した事柄を確認し、備えを充実させましょう。
体力が心配な方	• 歩幅や歩行速度は、日ごろから運動をしていない限り、年齢を重ねると共に衰えていきます。 • 現在のご自身の体力を確認し、無理をせずに避難するための準備（持ち出し品の量・避難するために必要な時間の確認）をしておきましょう。
介助が必要な方	• 自分一人で何とかしようと思わないでください。 • 家族や近隣の方に介助を依頼しておくのも一つの方法ですし、ケアマネさんや地域包括支援センター、町保健福祉課へ相談しておくことも大切です。

災害への備えは、自分自身だけではなく、家族や地域の人々を守るためにも重要なことです。
日頃からの備えが、いざという時にあなた自身や大切な人を守ることに繋がります。
「あの時こうしておけば良かった…」と後悔しないためにも、今からできる「備え」を怠らないでください。

ゆず太郎

国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の保険税(料)・一部負担金が段階的に震災前の負担に戻ります

東日本大震災・原発事故に伴い継続されてきた減免措置につきまして、国の決定に伴い、楢葉町では下記のとおり、震災前の負担に戻ります。

項目＼震災前の負担に戻る時期	令和6年度	令和7年度	令和8年度
保険料(税)	1/2減免	減免終了(全額負担)	
一部負担金(利用者負担)	全額免除	全額免除	

※一部負担金(利用者負担)の減免措置は、令和8年3月末で終了します。

しおかぜ荘・道の駅ならは日帰り温泉入浴券の有効期限について

昨年6月に町民の皆さまの心身の健康増進を図るため各世帯へ配布したしおかぜ荘・道の駅ならは日帰り温泉入浴券の有効期限がせまっています。期限を過ぎてからのご利用はできませんので、お早めにご利用ください。

■**有効期限／令和7年3月31日(月)まで**　■**配布対象**／令和6年4月1日時点で住民登録がある方

◉お問い合わせ先／天神岬温泉しおかぜ荘　☎0240-25-5726
羽黒山温泉道の駅ならは　☎0240-26-1126
◉温泉入浴券についてのお問い合わせ先／産業創生課　☎0240-23-6105

相続登記はお済みですか？～相続登記は義務化されました～

令和6年4月1日から相続登記が義務化されました。

なお、令和6年4月1日より以前に相続が開始している場合も、3年の猶予期間がありますが、義務化の対象となります。

相続した不動産について相続登記を長期間放置しておくと、不動産を処分することが複雑化し難しくなりますので、不動産を相続したらお早めに登記の申請をしましょう。

「不動産を相続した方へ～相続登記・遺産分割を進めましょう～」ホームページ

◉お問い合わせ先／福島地方法務局 富岡出張所　☎0240-22-3052

停電情報通知アプリの案内

東北電力ネットワークは、東北6県と新潟県の停電情報をお客さまのスマートフォンにお知らせするアプリを運用しています。

あらかじめ登録した地域での停電・復旧情報、東北電力ネットワークからのお知らせ等をプッシュ通知でお知らせします。

ご登録いただくのは、「停電・復旧の通知を受け取りたい住所」のみです。

普段からの備えとしてご活用ください。

Appstore　Googleplay

◉停電・緊急時のお問い合わせ先
東北電力ネットワークコールセンター
☎0120-175-366(24時間受付)

東北電力からのお知らせ

「突然電気が消えた」「切れて垂れ下がっている電線を見つけた」「電線や電柱にカラスが巣をつくっている」等の情報提供や、停電や緊急時の情報を確認したい場合は、東北電力コールセンターにご連絡ください。

◉お問い合わせ先
☎0120-175-366

サステな通信

楢葉町がサステナブルな町になりますように

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

『震災伝承×SDGs ～震災の記憶を伝え続ける～』

震災伝承とSDGsってカンケイあるの?と思われる方も多いと思います。震災の記憶を後世に語り継ぐことで、これから先「楢葉町が災害に強く、災害からすぐに復興できるしなやかさを兼ね備えた、持続可能なまちになるように」という思いを込めて、震災伝承活動をご紹介します。

役場語り部(やくばかたりべ)

町職員の約半数が震災後に採用されたという状況を受け、当時の経験や教訓を共有すべく実施されている取組みです。

毎回異なる職員が語り部となり、当時の(役場内の)混乱ぶり、地震や津波の状況、避難所の様子や運営状況などを共有してきました。震災時に味わった厳しい経験の数々を先輩職員から若手職員へ**「有事の際の心構え」**を語り継いでいます。

震災学習ツアー(しんさいがくしゅうつあー)

大規模災害に見舞われた地を訪れる「震災学習ツアー」。これまで岩手県、宮城県、新潟県を訪れました。訪問先では犠牲者の追悼と鎮魂を祈念し、震災遺構や伝承施設を訪れ、発災から復興までの道のりを目の当たりに、防災の大切さを再確認しました。

また、小学生は大津波に襲われた岩手県陸前高田市や災害協定を締結している鎌倉市を訪れ、地元の小学生との交流を通して防災の大切さ、生きるための行動を学びました。

防災週間(ぼうさいしゅうかん)・ならは防災と伝承の日(ならはぼうさいとでんしょうのひ)

9月の「防災週間」、3月の「ならは防災と伝承の日」に合わせて、小・中学生、地域のみなさん、消防団、防災士、楢葉町役場が連携して防災関連事業を実施しています。

「防災ウォーク」では、沿岸部から小学校までの道を、防災クイズに答えたり、歩き方の工夫を話し合いながら歩きました。また、地域のみなさんや消防団とハザードマップを囲み、自宅周辺の災害リスクや避難ルートを考える協働授業など、子どもも大人も災害に強いまちを目指す取組みを続けています。

3.11(さんてんいちいち)・つなぐ・未来(つなぐ・みらい)。

3月11日「ならは防災と伝承の日」の前後に合わせて開催している『3.11・つなぐ・未来。』では語り継ぐことの大切さをテーマにしています。今年は朗読劇にチャレンジしています。地域のキーパーソンらによるトークセッションでは地域住民の生の声をお届けします。

子どもたちによる防災学習の成果発表、防災想定ゲームなど、会場が一体となって震災を語り継ぐ大切さを考え、日ごろの防災意識を高める機会としています。

ここなら笑店街に設けた献花台には、毎年多くの方が花に想いを込め、手向けてくださいます。

Action 追悼献花台を設けます

3月11日(火) 10:00～18:00

場所 ここなら商店街 中央広場

亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、大震災の教訓と経験を風化させることなく後世に伝えるため、追悼献花を開催します。

※お花は会場にご用意しております。

お問い合わせ先／くらし安全対策課　☎0240-23-6109

献血のご協力をお願いします！

少子高齢化の進展とともに、献血可能な年齢層の人口は減少傾向にあり、特に10代から30代の若い世代の献血者が減少しています。

1日に3,000人の方が輸血を必要としており、必要な血液を確保するためには、1日平均 約14,000人の献血協力が必要です。

病気やけがなどで輸血を必要としている方のために、皆さんからの献血のご協力をお願いします。

■**日時**／3月14日（金）　9：00～12：00　　■**場所**／楢葉町役場 本庁舎玄関前

献血協力事業所の募集について

近年、献血協力者が減少傾向にあります。一人でも多くの方に献血にご協力いただけるよう、献血にご協力いただける事業所を随時募集しています。

献血に協力できる、詳しい話を聞いてみたいという事業所がありましたら、下記連絡先までご連絡ください。

日本赤十字社 福島県赤十字血液センター
https://www.bs.jrc.or.jp/th/fukushima/supporter/m5_02_index.html

◉お問い合わせ先／保健福祉課 保健衛生係　☎0240-23-6102

落語と読み聞かせ

3月29日(土)10：00より楢葉町コミュニティセンターホワイエにて第4回「落語と読み聞かせ」を開催します。「わたしの3.11」をテーマに落語・文学・音楽を通して自分にとっての3.11の意味を深く考えてみたいと思います。

■**落　　語**／「猫と金魚」　　演者：どこい亭ここい亭
■**朗　　読**／詩「南風の吹く日」「逃げる 戻る」（詩：若松丈太郎）
南相馬市メドレーより（作：柳美里）
子供たちの書いた作文　　朗読：坂本裕子
■**詩と音楽**／詩「小鶴明神」（詩：若松丈太郎）
音楽「ピアノのための小奏鳴曲“小鶴”」（作曲：嶋川　勉）
朗読：坂本裕子　演奏：嶋川　勉

◉お問い合わせ先／生涯まなび課　☎0240-25-2492

リサイクルハウスさくさくの開館日の変更について

4月1日より、リサイクルハウスさくさく（町役場前）は、土曜日及び祝日はお休みとなります。計画的なご利用をお願いします。

◉お問い合わせ先／くらし安全対策課 環境係　☎0240-23-6109

「保全管理」事業の終了について

担い手への農地集積に向けた準備への支援事業については、町での営農状況を鑑み、令和6年度をもって終了となります。

今後、担い手への集積を希望される方は地域の農業者の方にお声がけいただくか、農林水産課までご相談ください。

◉お問い合わせ先
農林水産課　☎0240-23-6104

南部衛生センターからのお知らせ

事業者からのごみは北部衛生センターで受け付けをしておりましたが、南部衛生センターの新しい焼却炉稼働に伴い、3月17日（月）以降、可燃ごみを含むすべてのごみが南部衛生センターでの受付となります。

介護保険料の特別徴収（仮徴収）開始について

介護保険料の納め方

年金が年額18万円以上の人➡年金から差し引かれます（特別徴収）

年6回ある年金の定期払いの際に、受給額から保険料はあらかじめ差し引かれます。

前年度から継続して特別徴収の場合、前年の所得が7月に確定するため、仮徴収と本徴収により保険料を納めます。

詳細な内容については、令和7年4月上旬頃に対象者へ送付する「介護保険料の特別徴収（仮徴収）開始について（お知らせ）」をご確認ください。

※年金が年額18万円以上でも納付書で納めることがあります（普通徴収）
・年度途中で65歳（第1号被保険者）になった場合　・他の市区町村から転入した場合　・保険料の所得段階が変更になった場合

前年度から継続して特別徴収対象者（年金天引き）の方へ

	仮徴収			本徴収		
年金支給月	4月（第1期）	6月（第2期）	8月（第3期）	10月（第4期）	12月（第5期）	2月（第6期）
	前年度の2月と同額 ※8月は、各期別の保険料を平準化（年額を6分の1に近づける）するため調整する場合があります。			（年額-仮徴収額）÷3		

令和7年4月から特別徴収対象者（年金天引き）の方へ

	仮徴収			本徴収		
年金支給月	4月（第1期）	6月（第2期）	8月（第3期）	10月（第4期）	12月（第5期）	2月（第6期）
	前年度の所得額により暫定的に決定した年額 ※8月は、各期別の保険料を平準化（年額を6分の1に近づける）するため調整する場合があります。			（年額-仮徴収額）÷3		

仮徴収とは

介護保険料は、毎年7月に賦課決定します。そこで、4月・6月・8月に支給される年金からは暫定の保険料額が特別徴収(年金天引き)されます。これを、仮徴収といいます。

介護保険料の平準化とは

介護保険料の特別徴収(年金天引き)は、4月・6月・8月が「仮徴収」、10月、12月、翌年2月に「本徴収」として、納付されることになりますが、前年の確定した所得額に応じて、「仮徴収」と「本徴収」に大きな差が出る場合があります。そこで、1年に1回納めていただく金額をできるだけ均等になるよう平準化を行います。

◉お問い合わせ先／保健福祉課 介護保険係　☎0240-23-6102

JICA（ジャイカ）海外協力隊募集！

二本松青年海外協力隊訓練所が、30周年を迎えました。4月12日（土）に、一般の方々を対象に、30周年記念イベントを開催します。同日、JICA海外協力隊の募集説明会も行いますので、お気軽にお越しください。

■**開催日時**／4月12日（土）　10：30～16：00（入退場自由）　参加費無料
※詳細は、以下のお問い合わせ先かウェブサイトでご確認ください。

◉お問い合わせ先／☎0243-24-3200(代表)　E-mail：jicanjv-bk@jica.go.jp
JICA二本松：https://www.jica.go.jp/domestic/nihonmatsu/index.html

元気アップ教室

Jヴィレッジフィットネスジムのトレーナーが、運動やストレッチ等を支援します。

■**日時**／3月12日（水）・3月26日（水） 13:30～15:00

■**会場**／3月12日　Jヴィレッジフィットネスクラブ
3月26日　みんなの交流館 ならはCANvas

◉お申し込み・お問い合わせ先／保健福祉課 保健衛生係　☎0240-23-6102

3月デュークズウォーキング教室の開催

3月のデュークズウォーキング教室を次の日程で開催します。
初めての方も、町民以外の方も参加可能です。
皆様のご参加、お待ちしております！

■**講　　師**／五十嵐KAZUKO氏（デューク更家公認ウォーキングスタイリスト）

■**日時・会場**／3月29日（土）13:30～15:00　楢葉中学校武道館

■**持 ち 物**／上ばき（スニーカー等）、飲みもの、タオル

◉お申し込み・お問い合わせ先／保健福祉課 国保年金係　☎0240-23-6102

あなたの自動車は正しく登録されていますか？

自動車税（種別割）は、4月1日午前零時現在で車検証上の所有者（割賦販売の場合は使用者）に課税されます。

自動車を下取りに出したり、他人に譲り渡したり、廃車した場合等は、令和7年3月末日までに必ず運輸支局で名義変更や抹消登録の手続きを行ってください。

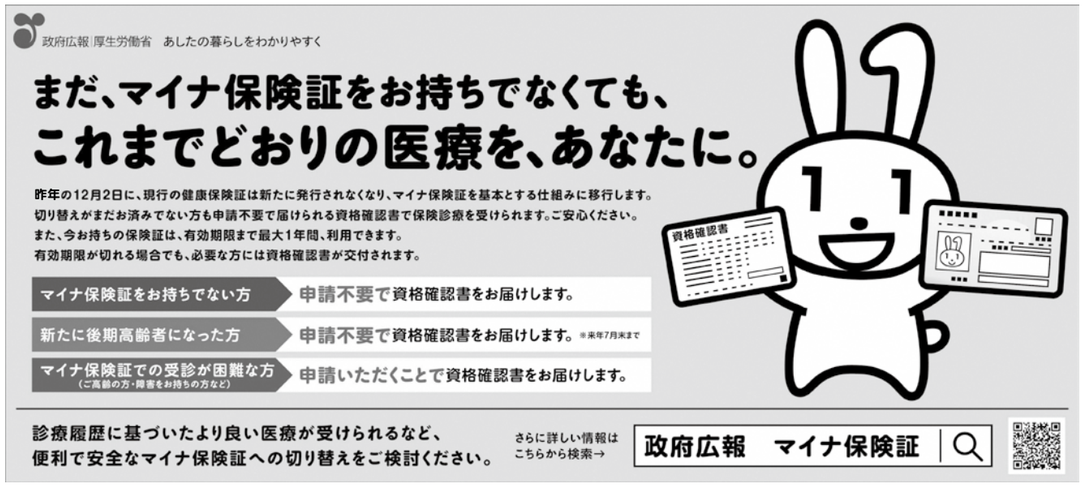
また、車を所有する方がお亡くなりになられた場合も、必ず運輸支局で相続する方への名義変更や抹消登録等の手続きを行ってください。

なお、避難先等への郵便物の転送を希望される方は、最寄りの郵便局へ「転居届」の提出をお願いします。

◉お問い合わせ先

■**自動車税に関すること**　相双地方振興局 県税部 課税課 間税チーム　☎0244-26-1127

■**自動車の登録手続きに関すること**　国土交通省 東北運輸局 福島運輸支局 登録部門
☎050-5540-2015
いわき自動車検査登録事務所　☎050-5540-2016



双葉警察署からのお知らせ

福島県警察では令和7年度採用試験で警察官を募集予定です！

■**受付期間**
3月3日(月)～4月4日(金)

■**第1次試験**
5月18日(日)

■**会場**
福島市内、東京都内

■**受験資格**
警察官A　年齢33歳未満の方で、大学を卒業した方または大学卒業見込みの方
警察官B　年齢17歳以上33歳未満の方で以下に該当しない方
・大学を卒業した方
（見込みも含む）

※高校在学中の方は第2回警察官採用試験(9月実施予定)での対象になります。

双葉警察署警務係からひとこと(^^)/

警察官は福利厚生が充実しており、女性の育児休暇はもちろん男性も育児に参加するための休暇や夏季休暇など**職員全員が働きやすい環境**です。

各種休暇を積極的に取得しており、各自仕事とプライベートの両立ができています！

受験希望の方はもちろん、少しでも興味のある方、ご家族ご親戚に受検資格のある方などたくさんの応募をお待ちしています。

募集についての問い合わせや、質問などはお気軽にご相談ください。

◉お問い合わせ先
双葉警察署 警務課　☎0240-22-2121
富岡町中央二丁目19

厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

就職相談

「就活って何から始めればいいかわからない」
「自分に合う求人をみつけられない」
「働きながら転職活動ができるか不安」
「定年後も元気なうちは働きたい」

こんなあなたの就職・転職の悩みを一緒に解決していきましょう！

まずはご相談ください。

【利用無料・若者からシニアまでOK】

■**電話**
フリーダイヤル 0120-810-650
受付時間：平日9:00～12:00、13:00～16:30

■**メール**
ホームページ（https://fkkoyou.net/）の専用フォームから24時間受付中

■**窓口・オンライン**
※予約制（フリーダイヤルまたは専用フォームからお問合せください）

働きたいネットの就職応援マルシェ【出張求職者カフェ】

【参加無料・予約不要】

ハローワーク富岡に求職者カフェがやってきます！就職活動に役立つ支援が無料で受けられます。是非お越しください。

■**日時**
3月19日(水)　9:00～12:00

■**場所**
ハローワーク富岡 2階会議室

はたらっこ

■**支援メニュー**
- 証明写真撮影
※撮影希望の方はスーツ等の着用がおすすめ！
貸出用ジャケット有
- 応募書類作成
- 面接対策
- 適職診断　等

◉お問い合わせ先
ホームページ 働きたいネット で検索
福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口
福島市中町4-20　エスケー中町ビル202号
☎024-524-2121　FAX024-524-2125

✿ ふらっと ～ながら～ ✿

～楢葉町地域学校協働センター　家庭教育支援サロン～

あおぞらこども園 子育て支援センターで
毎週火曜日に開催しています。

何かをしながら(お茶を飲みながら、遊びながら等)、ホッと一息つける場所です。子育てや孫育てについて、その他 生活に関することなどをお話したり、のんびりとした時間を過ごしたりしませんか?

どなたでもふらっと気軽にお立ち寄りください。子育て経験や保健師経験があるスタッフがお待ちしています!

✿**場　　所**／あおぞらこども園 子育て支援センター
✿**日　に　ち**／毎週 火曜日
（3月は4日・11日・18日・25日）
✿**時　　間**／10:00～15:00
✿**対　　象**／妊婦さん～子育て中の保護者の方・祖父母の方
✿**申し込み**／なし

◉お問い合わせ先／こども課　☎0240-23-5515
地域学校協働センター
☎070-3798-5557

広報ならはに広告が出せます

多くの人が目にする広報ならは紙面内に広告が出せます。

人材募集や企業PR、イベントのお知らせ等、使い方は様々です。

町内企業であれば5,000円/月額から掲載できますので是非ご利用ください。

広告掲載の詳細についてはDX推進室までお気軽にお問い合わせください。

◉お問い合わせ先
DX推進室　☎0240-23-6103

お悔やみ申し上げます（敬称略）

氏　名	年齢	行政区	氏　名	年齢	行政区
大和田　稔	93	北　田	諏訪下　務	85	下小塙
髙野　榮子	83	北　田	結城　陽子	91	上井出

（広報ならは2月号掲載以降亡くなられた方）

楢葉町公式LINEアカウントの登録はお済みですか?

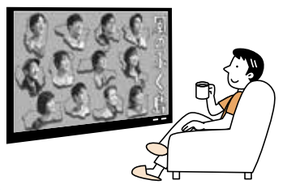
楢葉町公式LINEでは、くらしの情報やイベント情報、防災情報等を随時発信しています。また、知りたい情報をチャット形式で質問できる自動応答機能もございますので、ぜひお友達登録をしてご活用ください。

登録方法

- LINEの「ホーム」画面より、「友だち追加」からQRコードを読み取る。
  又は
- 「ホーム」画面の検索欄でID「@narahatown」と検索する。

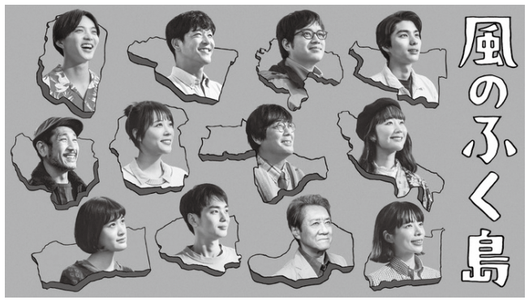
◉お問い合わせ先
DX推進室　☎0240-23-6103

福島12市町村移住者たちの実話を基にした「風のふく島」が福島テレビで放送されます。



原発事故により避難指示等の対象となった福島12市町村を舞台に、それぞれの地域に実際に移住した人をモデルとしたヒューマンドラマ「風のふく島」が3月1日より毎週土曜日13時から福島テレビで放送されます。

3月8日放送の第3話は楢葉町を舞台とした話となっておりますので、是非ご覧ください。



消防署からのお知らせ

3月1日～3月7日まで
春季全国火災予防運動週間です

全国火災予防運動週間とは火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防意識の一層の普及を図ることで、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年春季と秋季の年2回実施しているものです。

春先は空気が乾燥して風も強いので、火災が発生・拡大しやすくなっています。

この機会にご家庭の防火対策について、今一度見直しをお願いします!

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

住宅防火で一番大事なことは「火災を起こさない」ことです。

いのちを守る10のポイントを参考にして、見直しをしてみましょう。

住宅防火 いのちを守る 10のポイント ～4つの習慣と6つの対策～

4つの習慣

- ❶寝たばこは絶対にしない、させない
- ❷ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- ❸コンロを使うときは火のそばを離れない
- ❹コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

6つの対策

- ❶火災の発生を防ぐために、ストーブやコンロ等は安全装置の付いた機器を使用する
- ❷火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- ❸火災の拡大を防ぐために部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する
- ❹火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく
- ❺お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- ❻防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

お問い合わせ先

火事・救急は 119番

富岡消防署	☎0240-22-2119
楢葉分署	☎0240-25-2119
川内出張所	☎0240-38-2119
浪江消防署	☎0240-34-4111
葛尾出張所	☎0240-29-2119

■ 譲渡・売買が可能な町内産農産物

現在福島県では、放射能検査を行い安全な農産物が流通・消費される体制を整えています。
年度毎に町内において1品目あたり1検体以上、県の放射能検査を実施する必要があります。
下の表は、令和6年4月1日から令和7年2月6日までに県で行われた、検査結果です。
この表に、含まれない農産物の譲渡・売買はできません。(野生に自生する物も含まれます)

【譲渡・売買が可能な農作物】

(令和7年2月6日現在)

野　菜	赤しそ	アスパラガス	えごま(葉)	オータムポエム	大葉	オクラ
	かぼちゃ	カリフラワー	キャベツ	きゅうり	空芯菜(くうしんさい)	コールラビ
	小ねぎ	こまつな	さといも(茎)	サニーレタス	さやいんげん	さやえんどう
	サンチュ	ししとうがらし	シュンギク	食用きく	シロウリ	すいか
	ズッキーニ	スナップえんどう	チンゲンサイ	つぼみ菜	ツルムラサキ	とうがらし
	トウモロコシ	トマト	なす	菜花	ニガウリ	ニラ
	ねぎ	白菜	バジル	パセリ	葉大根	葉玉ねぎ
	ハヤトウリ	ピタミン菜	ふき	ピーマン	ブロッコリー	べんり菜
	ほうれんそう	みずな	ミニトマト	みょうが	むかご	メロン
	モロヘイヤ	ルッコラ				
根菜・芋類	エシャロット	かぶ	キクイモ	ごぼう	さつまいも(かんしょ)	さといも
	じゃがいも(バレイショ)	大根	ながいも	玉ねぎ	にんじん	にんにく
	はつか大根	ヤーコン				
果　実	いちじく	うめ	かき	カボス	キウイフルーツ	みかん
	ユズ	レモン				

※栽培は肥培管理されているもので、山取り(野生)をのぞきます。

上の表に含まれない農産物等を譲渡・売買したい場合は、まず農業普及所に問い合わせ、県の放射能検査を受けてください。

◉お問い合わせ先／福島県双葉農業普及所　☎0240-23-6474　農林水産課　☎0240-23-6104

■ 楢葉町公共施設等モニタリング調査実施結果(2月実施分)

1 調査期間　令和7年2月4日(火)
2 測 定 器　NaIシンチレーションサーベイメータ(空間放射線量率測定用サーベイメータ)を使用
3 測定方法　地表面から高さ1m及び高さ1㎝の空間線量率を測定(くらし安全対策課職員が実施)。
測定器を水平に保ち、約30秒ほど経過させて測定値が安定したことを確認し、10秒ごとに測定値を5回読み取り、その平均値を記載(県指定測定方法に基づき実施)。

4 測定結果

測定箇所		測定値(μSv/h) 今月測定値 地上1.0m	地上1.0cm
楢葉町役場	(玄関前)	0.08	0.09
楢葉町公民館	(玄関前)	0.09	0.08
楢葉町コミュニティセンター	(ロータリー)	0.14	0.17
萩平地区集会所	(玄関前)	0.11	0.11
浄光西地区集会所	(玄関前)	0.10	0.10
向ノ内地区集会所	(玄関前)	0.13	0.13
下繁岡地区集会所	(玄関前)	0.11	0.11
営団地区集会所	(玄関前)	0.11	0.11
波倉地区集会所	(玄関前)	0.08	0.09
ぼらぐち	(自宅門扉前)	0.16	0.13
繁岡地区集会所	(玄関前)	0.09	0.10

測定箇所		測定値(μSv/h) 今月測定値 地上1.0m	地上1.0cm
上繁岡地区集会所	(玄関前)	0.09	0.09
塩貝の大カヤ	(駐車場)	0.17	0.18
松館地区集会所	(玄関前)	0.12	0.12
墓地公園(入口前)	(道　路)	0.14	0.14
大谷地区集会所	(玄関前)	0.11	0.10
総合グラウンド(多目的運動場)	(フィールド)	0.07	0.09
楢葉中学校	(校　門)	0.09	0.08
鐘突堂地区集会所	(玄関前)	0.10	0.11
上井出地区集会所	(玄関前)	0.09	0.11
竜田駅	(改札口前)	0.08	0.13

※全測定結果は、ホームページから閲覧することができます。
※測定箇所は、北部と南部に分けて2か月に1度測定しています。
※1月、2月に実施した最大測定値　▶地上1m:塩貝の大カヤ(駐車場)0.17μSv/h　▶地上1cm:塩貝の大カヤ(駐車場)0.18μSv/h

※公共施設等モニタリング調査は、令和7年3月をもって終了します。今後、町内の空間線量率は、福島県放射能測定マップ、原子力規制委員会放射線モニタリング情報共有・公表システム等でご確認ください。

- **福島県放射能測定マップURL**
  https://fukushima-radioactivity.jp/pc/
- **原子力規制委員会放射線モニタリング情報共有・公表システムURL**
  https://www.erms.nsr.go.jp/nra-ramis-webg/

◉お問い合わせ先／くらし安全対策課　環境係　☎0240-23-6109

福島県
放射能測定
マップ

原子力規制委員会
放射線モニタリング
情報共有・公表システム

■ 楢葉町内居住者集計表(令和7年1月31日現在)

【住民基本台帳人口】

世帯数	男	女	人口(外国人含む)
3,175	3,323	3,078	6,401

【町内居住者】

行政区	世帯数	人数
上井出	282	516
下井出	330	431
北　田	392	789
大　谷	145	256
松　館	45	104
上繁岡	62	120
繁　岡	97	157
下繁岡	110	211
波　倉	27	50
営　団	160	254
乙次郎	2	3
小　計	1,652	2,891

行政区	世帯数	人数
上小塙	101	219
下小塙	233	546
山田岡	313	572
前　原	60	111
山田浜	42	85
女　平	14	27
大　坂	12	26
小　計	775	1,586
合　計	2,427	4,477

町内居住率	世帯数	人数
	76.44%	69.94%

【町内居住者年代別集計表】

	人数
0～4歳	161
5～9歳	135
10～14歳	125
15～19歳	151
20～24歳	222
25～29歳	288
30～34歳	216
35～39歳	214
40～44歳	226
45～49歳	254
50～54歳	280
55～59歳	279

	人数
60～64歳	343
65～69歳	397
70～74歳	369
75～79歳	284
80～84歳	216
85～89歳	179
90～94歳	88
95～99歳	42
100～104歳	8
合　計	4,477

楢葉町内居住者について
① 町内居住者数／当月末の町内に居住する者の数。
② 町内居住率　／当月末の住民基本台帳人口に対する町内居住者数の割合を町内居住率とする。

$$町内居住率(\%) = \frac{町内居住者数}{住民基本台帳人口(月末)}$$

■ 水道水中における放射性物質のモニタリング結果

■採 水 場 所:小山浄水場
■水　　源:木戸川(ダム放流水)
■採水年月日:令和7年1月1日～31日

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
ND	ND	ND

※いずれの検体も、1月31日時点で放射性物質は不検出です。
※「ND」とは、一定の条件で測定機器が検出できる最小値(1Bq/kg)未満であることを示しています。

■採 水 場 所:北林配水池
■水　　源:寺下・中川原水源池(浅井戸・伏流水)
■採水年月日:令和7年1月1日～31日

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
ND	ND	ND

測定機関:双葉地方水道企業団
分析装置:ゲルマニウム半導体検出器 ／ 検査頻度:毎日
測定方法:水道水等の放射能測定マニュアル(厚生労働省)

《参考》検査日現在の目標値　(単位:Bq/kg)

	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
食品衛生法の規定に基づく新たな基準による目標値	ー	10	

※これまで暫定規制値が設定されていた放射性ヨウ素については、半減期が短く、国に平成23年7月15日以降の検出報告がないことから、規制の対象から除外されました。

楢葉町 令和6年度　**双葉地方水道企業団 水道修理当番表**
(令和7年3月)

指定給水工事業者名 ＼ 年・月	令和7年 3月
草野建設㈱　0240-25-3121	3日～9日、31日
㈱彩　　輝　0240-25-2585	10日～16日
㈲吉田設備　090-3982-3422	17日～23日
㈲村井設備　0246-38-6855	1日・2日、24日～30日

■ 町で実施した自家消費食品等の放射能簡易検査結果

令和7年1月分の自家消費食品等放射能簡易測定所で実施した食品等の放射能検査結果となります。

食品種別	1月分 検体数	測定物(基準値超数／検体数) 最小値～最大値(Bq/kg)		
鳥　獣	1	猪肉 (1/1) 492.95		
合　計	1			

※区分は県の区分に従いました。色字は検査した食品のうち国の基準を超えた検体数です。
※国の基準(平成24年4月1日施行)は、一般食品で1キロ当たり100ベクレル、飲料水で10ベクレル、牛乳や乳児用食品は、50ベクレルです。
※依頼された検査品の最小値と最大値を記載しています。
※「ND」は「Not Detected」の略です。「不検出」の意味で、検出限界以下であることを示す場合に用います。
※従来の詳細な測定値の表は、ホームページで随時公開しています。

◉お問い合わせ先／農林水産課　☎0240-23-6104

「まざらっせ」が福島県建築文化賞 復興賞を受賞

入　口

スタジオ

ライブラリー

アトリエ

まざらっせ

2月5日、楢葉町地域活動拠点施設「まざらっせ」が第40回福島県建築文化賞 復興賞を受賞しました。

地域の活動に新たな交流を受け入れ、まざりあっていく、楢葉町の新たな活動拠点として令和5年4月に保育園から生まれ変わった当施設は、元の保育園の面影を残しつつ、スタジオやコワーキングスペースとしても利用できるホール、キッチンを備え、ライブラリー等も整備された開放的な空間となっています。みなさんも、様々な活動でご利用下さい。

なお、復興賞の受賞は、みんなの交流館 ならはCANvasに続き2度目の受賞となります。

テラス

ホール

キッチン

●楢葉町地域活動拠点施設「まざらっせ」

開館時間　9:00～17:00
休 館 日　毎月第2・第4水曜日
　　年末年始(12月29日～1月3日)
所 在 地　楢葉町大字下小塙字久保田63-3

TEL 0240-23-6129
FAX 0240-23-6139
HP　https://mazarasse.com
E-mail　info@mazarasse.com

開放的な校舎入口

木のぬくもりを感じるランチルーム

広々とした中庭

体育館

令和7年1月22日(水)、ふたば支援学校新校舎落成式が執り行われました。

当校の前身である富岡支援学校は、東日本大震災及び原子力発電所事故の影響により避難を余儀なくされ、いわき市内2か所に分かれて、教育活動を続けてきました。

令和6年4月に校名を「福島県立ふたば支援学校」と改め、旧楢葉北小学校跡地に新校舎が整備されました。

双葉地区全体の復興と特別支援教育の充実に向け、より一層の発展が期待されるふたば支援学校には、これから多くの児童・生徒が通学されます。新しい学び舎でも安心して学校生活を送れるよう、地域の皆様のご協力をよろしくお願いします。

県立ふたば支援学校が14年ぶりに双葉郡内で再開

笑顔とチャレンジがあふれるまち ならは
広報ならは／毎月5日発行
発行／福島県双葉郡楢葉町
編集／DX推進室広報情報係
〒979-0604 福島県双葉郡楢葉町大字北田字鐘突堂5番地の6

3.11

3月11日は「ならは防災と伝承の日」です

『ならは3.11・つなぐ・未来。』

令和7年 3月8日(土)

［場　所］楢葉町コミュニティセンター
［時　刻］13:00～15:00

『ならは3.11いのりの集い』

令和7年 3月11日(火)

◉ここなら笑店街に献花台を設けます

お花は会場に用意しております。

［場　所］ここなら笑店街　中央広場
［時　刻］献花10:00～18:00

●日没後にキャンドルを灯します。

お問い合わせ先／くらし安全対策課　☎0240-23-6109

楢葉町役場連絡先一覧

楢葉町役場

◉総　務　課　0240-23-6100
◉町民税務課　0240-23-6101
◉保健福祉課　0240-23-6102
◉政策企画課　0240-23-6103
（DX推進室含む）
◉農林水産課　0240-23-6104
（農業委員会含む）
◉土地改良区　0240-23-6137
◉産業創生課　0240-23-6105
◉建　設　課　0240-23-6106
◉くらし安全対策課　0240-23-6109
◉出　納　室　0240-23-6131
◉議会事務局　0240-23-6132
◉こども課　0240-23-5515
◉生涯まなび課　0240-25-2492
コミュニティセンター
0240-25-4701
◉あおぞらこども園
（子育て支援センター）
0240-26-0808

防災無線

防災無線の内容を電話で確認できます。
0240-25-5805
0240-25-5806

〒979-0604　双葉郡楢葉町大字北田字鐘突堂5番地の6
TEL 0240-25-2111　FAX 0240-25-5564　E-mail:naraha@town.naraha.lg.jp
【土日祝日は日直対応　8:30～17:15】

楢葉町をちょっとのぞいてみませんか?
楢葉町公式SNS

ホームページ　X（旧Twitter）　Facebook　Instagram　LINE　YouTube　あおぞらこども園Instagram